

J A R L

香川クラブ報

No. 320 平成14年2月15日



J A 5 Y D E

通常総会のご案内

今年度は、高松市市制 111 周年記念局「8 J 5 I I I」の開設運用にクラブ員各局の多大なご協力を頂きありがとうございました。その他のクラブ行事もほぼ予定どおり開催することができました。いろいろとお疲れ様でした。

ところで、昨年はニューヨークで起きた前代未聞の航空機テロを発端にイラク紛争以来の大規模な衝突がアフガニスタンであり、またイスラエルとパレスチナ紛争など、きな臭い出来事が未だに尾を引いて世界経済を混沌とさせています。

一方日本はといいますと、アメリカの傲慢な行動に歩調を合わせ、国内の経済や雇用情勢を一向に改善せず、危機的情勢に目を向けようとしない政治に辟易します。

また、最近では「言った。言わない」の幼稚じみた論争で国会を空転させ、あげくには「自分の意にならないから」と議員を辞めるという輩まで現れ、一体これからの子供達にどのように教えていけば良いのか、情けなくなります。

「大丈夫、大丈夫」と言いながら、次々出てくる狂牛病問題。わからなければ何をしても良いとばかりに輸入肉を国産肉と偽り、生産地を偽り、商品ラベルまで偽造し、一体何を信じれば良いのか？こうなれば「あの食品も、この食べ物ももしや？」と疑心暗鬼になります。また、図書館で暴れていて注意された人に逆恨みし、多勢をもって長時間殴り続け死に至らしめた中学生グループが逮捕されました。しかし、考えてみれば先の国会議員らの行動とあまり大差がないのではないかと感じたのは私だけでしょうか？

ところで、平成 13 年度も残すところ後わずかとなりました。そこで、通常総会を下記のとおりおこないます。

年度末のお忙しい時期ではありますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願いいたします。

なお、出席の有無にかかわらず、同封しております葉書（欠席の場合は委任状）に近況等をご記入の上必ずご返送くださいますようお願いいたします。

記

日時：平成 13 年 3 月 3 日（日） 13:30～15:30

場所：高松市三谷町 「三好事務所」

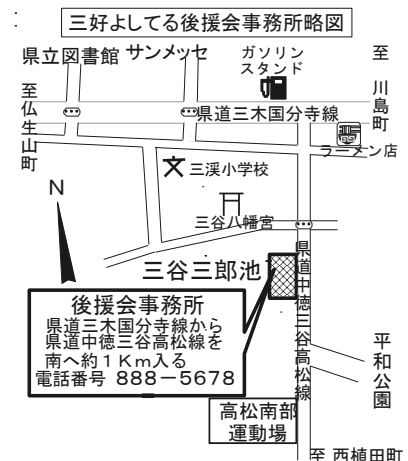
議題：1.平成 13 年度事業報告

2.平成 13 年度会計報告

3.役員改正

4.平成 14 年度事業報告

5.その他



大盛況の忘年会

去る12月20日に「海鮮問屋仲見世」において恒例の忘年会が開催されました。
まず、天野会長が各種行事の総括等についてあいさつがありました。

引き続き稲毛OMがJARLの近況や会員数の激減によるJARL組織の改変状況、会員増強、永久会員の処遇問題等について話があり、長尾OMの乾杯で酒宴に移りました。

今回の話題は何と言っても「高松市制111周年記念局8J5III」がもっぱら話題の中心となり、苦労話や運用自慢などすごい盛り上がりで時間の経つのがわからないほどでした。また、他にもARDFやオールJA5コンテスト、香川マラソンコンテストの話題にも大いに花が咲きました。



呑み助が多いからと恒例の飲み放題のコースを取っていたせいもあり、空くは空くはお酒にビール、焼酎にウイスキー・etc。

予定していた時間を大幅にオーバーしてしまいました。

参加の皆さん、飲んで食べて多いに盛り上がりFBな忘年会となりました。

参加者 JA5MG, JA5UY, JA5AHM, JA5IJL, JA5TFJ, JH5EZB, JH5LYW, JH5PMZ, JH5WMN, JR5GLO, JE5BYS, JE5PBO, JF5EAP, JF5ICA, JF5MED, JG5OBX, JI5SAO, JI5VWA, JI5XTP

香川マラソンコンテスト結果

1日	1局	バンド	局数	地域7/14	モード	局 数		
2	1	1.9	0	0	CW	12局		
3	2	3.5	3	2				
4	1	7	5	3				
5	1	14	2	1	SSB	14		
6	10	21	3	2				
7	6	28	4	3	FM	50		
8	1	50	9	5				
9	1	144	10	6	F2	3		
10	4	43	41	9				
11	3	1200	2	1				
12	2							
13	1							
14	21							
15	24							
		合計	79× (32+15) = 3,713 点					

運用結果は上記のとおりでした。

OP: JH5LYW

社団マルチの部で第三位でした。

なお、クラブ員で個人の部において入賞されました方々のお知らせをします。

個人マルチバンドマルチモードの部	1位	J A 5 T F J
2 1 M H z 電信の部	1位	J R 5 E H B
4 3 0 M H z 電話の部	3位	J I 5 S A O
1 2 0 0 M H z 電話の部	1位	J H 5 P M Z
特殊モードパケットの部	1位	J G 5 R S T

以上、5局の方々が入賞されました。

各局おめでとうございます。次回もまたがんばってください。

入賞者は3月10日の「ハムフェスティバル in 香川」において表彰されます。

各部門とも得点レベルは昨年より一段と低くなっており、参加者も減少しています。また、誰もエントリーのないバンド・モードもかなりあったようです。ちなみにクラブ員でログ提出者は15名でした。ハムの衰退が叫ばれています。ぜひ皆様方の積極的な運用とコンテスト参加をお願いします。

また、昨年7月21・22日に開催されました「オールJ A 5 コンテスト」において、クラブ員で入賞された方の紹介をします。

個人 3. 5 M H z 電信の部	香川県第1位	J R 5 E H B
4 3 0 M H z 電信電話の部	徳島県第1位	J I 5 S A O
1 2 0 0 M H z 電信電話の部	四 国第1位	J G 5 W U N

「8 J 5 I I I」の運用期間中でクラブとしては参加できませんでしたし、個人でも記念局の運用に係りきりで参加できなかった方もいました。しかし、「8 J 5 I I I」でチェックログは提出しました。お疲れ様でした。次回も頑張ってください。

ハムフェスティバル i n 香川に参加を！

平成13年度J A R L香川県支部大会「ハムフェスティバル i n 香川」が昨年と同じく綾歌町「アイレックス総合会館」において開催されます。コンテスト入賞のクラブ員がたくさん表彰されますので、年度末のお忙しい時期ではありますが、参加するようにしてください。

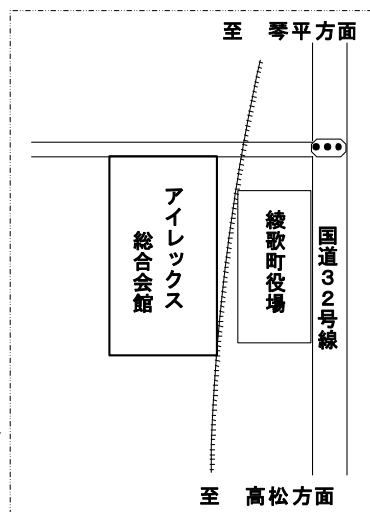
記

日時：平成14年3月10日（日）
11：00～16：00

場所：アイレックス総合会館

次第：支部大会
講演
各種表彰式
写真撮影
お楽しみ抽選会

詳細についてはJ A R L香川県支部報2月15日号を参照するか、J A 5 T O P平賀OMまでお問い合わせ下さい。



一人で出来た！

de J I 5 VWA 大浦さつき

きっかけは三好さんが、製作技術講習会で作ったという「手作りラジオ」を見せてもらったことでした。「発電機付きで電池を買わなくても良いラジオなんて始めて見た。そもそもラジオって手作り出来るものだったんだ。私も欲しいなあ」と、単純に考えてしまいました。しかし、私は全くのメカ音痴、理科系の知識はゼロですから、いきなりラジオの製作という高等技術を要することが出来とは思えませんでした。簡単な工作すら小学校以来したことがありません。「キットだから大丈夫。誰でも出来るよ」との言葉に励まされ「誰でも出来るって言うのなら何とか出来るかも知れない。出来なかったら手伝ってもらおう」と考え、キットを分けてもらいました。

いよいよ製作。最初にキットの部品を確認していて、本気で「これは出来ないかもしれない」と悩みました。「コンデンサ？どっかで聞いたことあるような。抵抗？中学校で習ったような気が…。4アマの勉強をしていて出てきたかな？」と頭の中でハテナが飛び交っています。おまけに、生まれて初めてのハンダ付けです。「ハンダ？ハンダ付け？確かに聞いたことはあるけど」何をどうすれば良いのか全くわかりません。説明してもらって、実演してもらって初めて「ハンダっていうものを溶かして、糊みたいにくっつけるのね」と納得しました。そして、

実際にハンダゴテを持ってハンダ付けをしようとする、熱気が伝わってくるのがわかるし、ハンダが溶け出すと早いし、本当に怖かったです。気分的には「失敗できないだろうし（やり直しが出来るとは知らなかった）怖いし、どうしよう」でした。おそろおそろ、それでも何とか抵抗やらコンデンサ、トランジスターなどハンダ付けを済ませ、一応基板部分は出来ました。「ヤッター。これでハンダ付け終了。後は箱にイヤホンや発電機接続用の穴をあけて、基板を取り付ければ終了」だと思ったのですが、プラスチックの箱に穴を開けるのは、硬いのですぐ割れそうでなかなか大変でした。おまけに終了したと思っていたハンダ付けがまだ残っていたのです。発電機接続用プラグや充電式乾電池ケースなどが残っていたのです。一つ一つ教えてもらいながら今度は本当に終了です。



最後に箱の蓋部分の加工をして「ヤッター。これで本当に終了だあー。」と、とても嬉しくなりました。理科系が全滅で、配線がどうなっているのかわからなくても（そんなことを言っただけで駄目なんでしょうが）何とか完成品が出来、発電機を回して実際にラジオから放送が聞こえた時は感激しました。

毎日少しずつしか出来ず完成までに長期間かかったのにもかかわらず、根気よく教えていただいた三好さんには感謝しています。ありがとうございました。もしかしたら「また何か作りたい」と無謀にも言い出すかも知れませんが、その時はどうぞよろしくお願いします。

大変良く出来ました。お昼休みのわずかな時間でかなり長期間（約2ヶ月）かかりましたが、途中で棒を折ることなく、そばでアドバイスしてもらいながらと言え全くの初めてなのに一人で完成させたことは賞賛に与えます。
また、これからも結果だけを恐れることなく何かにチャレンジしてください。

私とアマチュア無線（その 1）

DE JR5EHB

アマチュア無線の楽しみ方にもいろいろありますが、皆さんはどんな楽しみ方をなさっておられるでしょうか？ざっと数えてみても、ARDF、DX通信、ラグチュー、アワード、衛星通信、EME、自作、QRP、欧和文CW、移動運用、QSL収集、パケット、RTTY、ATVやSSTVなど等、数え上げればきりがありません。また、それぞれに奥が深く、一生掛かっても楽しみきれないかもしれません。それらの中で私はコンテストとCWが大好きです。コンテストやCWの話は又、機会があればと言うことにして、今回は私の無線のルーツから現在までを述べたいと思います。

私がアマチュア無線に興味をもったのは中学生の時でした。当時『ラジオの製作（誠文堂新光社発行）』の綴じ込み付録に電話級アマチュア無線技士の国家試験受験申請書が付いておりまして、前年の生徒手帳から剥がした写真を申請書に貼り付け、中学生ながら一人で予讃線に乗り、松山市へ受験に行きましたが結果は三文字（不合格）でした。

（このとき合格し、開局しておれば四国では未だコールサインがJA5だった。）小学生でも国家試験に合格して開局している、という話を聞いて受験したのですがNGでした。ヤエスからオールソリッドステートタイプの「FT301」が出た年でした。

その後、BCLをしながらアマチュア無線への夢が捨てきれず、SWLとしてJARLに入会しました。初めての愛機はナショナルの「クーガ」でジャイロアンテナ付き、次は、今では手放してしまいましたがトリオの「9R59DS」で中波DXや船舶気象通報局、航空ボルメット局などを聞いて楽しんでおりました。

その後発売されたケンクラフトのキット機「QR666」、ドレークの「SSR-1」ヤエス「FRG-7」の中から「FRG-7」を購入しBCL/SWLを楽しみました。高校生時代の夏休み、冬休みにガソリンスタンドでアルバイトをして購入しました。

さて、最初のSWLカードによる返信は「JA6YIR, JARL佐賀クラブ」のものでQSLカードのコメント欄に『早くハムになって交信しましょう。』と、書かれており、たいへんうれしかったのを覚えています。その後は「JA6YIR」とは交信できておりませんがいつか交信したいものです。SWL/BCLの出身だからでしょうか、私はQSLカードに対する思い入れや執着心が事の外強いように思います。

また、初めて参加したコンテストは、昭和53年度の香川マラソンコンテストでした。SWL部門（JA5-3278）でしたがHF帯をワッチして入賞し、(当時はHFや50MHz、144MHz FMが中心で430MHzなどの無線機はたいへん高価で、出ている人はほとんどおらずガラガラだったのです。)



翌年は高松市で開催の香川県支部大会で香川県支部長の J A 5 A G 太田 OM (当時) から賞状と優勝カップを頂いて大感激し、コンテストにハマって！しまいました。高校生になっていた私は詰襟の学生服姿で支部大会に出席したものです。今思えば恥ずかしい限りですが・・・当時の賞状と優勝カップは今でも大切に、わたしのシャックにあります。ちなみに高校のクラブ局には白いパネルの「F T D X 4 0 0」がありました。その後アワードにも、興味が出て、HAC, H A J A, SWL-J C C 600 まで行きましたが (当時は J C C アワードのみで、郡のアワード J C G は無かった。) 全市 (H A C A) まではいけませんでした。ローカルの J A 5 J T E 黒渕 OM と一緒に S A H C (四国アワードハンターズクラブ) のミーティングに参加させて頂いたりもしました。場所は確か坂出市のうどん屋で、初めて J A 5 M G, J A 5 G P A, J A 5 I A F, J A 5 J N J, J A 5 K T N 等の OM さんにアイボールさせていただき感激したのを覚えています。この頃は HF のリグといえばヤエスの「F T 1 0 1 B (S)」, 後に「F T 1 0 1 E (S)」, トリオからは「T S 5 2 0」「T S 8 2 0 (S, V, X, D)」が全盛でした。私はヤエスの「F R 1 0 1」が欲しくてたまらなかったのですが、高価でとても手が出ませんでした。(将来ハムになって開局の際には、「F L 1 0 1」を購入すればトランシーブ運用が出来ると考えていたからです。)

その後昭和 58 年には四国地方本部 30 周年記念 J A 5 コンテストにも参加し、四国地方本部長の J A 5 M G 稲毛 OM から賞状を頂きました。当時は進学の為 2 エリアに在住しておりましたが夏休みの帰省中にコンテスト参加したものです。

卒業直前に局免許は 2 エリアではおろさず、実家のある 5 エリアでおろしました。プリフィックスはすでに J H 5 が終わり、J R 5 まで進んでおりましたがやっと開局できうれしかったものです。リグは電化センターさんから中古で購入したトリオの「T S 8 2 0 V」10 ワット機でした。

開局初日は 11 月 2 日で大変ドラマチックでした。

今までの SWL の経験から、開局早々いきなり 7 MHz-



S S B で誰がファースト Q S O になるのかな? と、ワクワクしながら初めての C Q を出し、初交信は J A 7 L O D 岩手県東磐井郡の局でした。次の局は少しパイルになっていた J D 1 小笠原の硫黄島の局でした。また当日はオール J A 9 コンテスト電話部門の最中でしたので何局かに『今日、開局しました。』といいながらコンテストナンバーを送っていました。初日は興奮して午前 4 時過ぎまでマイクにかじりついて、なんと 10W+ D P ながら 7 MHz S S B で DX ペディ中の V K 2 L H I (ロードハウ) も交信できてしまったのです。この時は「SWL の経験があつてよかったな」とつくづく思いました。開局初日に C Q を出し、コンテストにも参加し、DX とも交信できてしまったのです。俄然面白くなってアマチュア無線にのめりこんでしまいました。当時は開局のバンドは 50MHz が中心で 144MHz でも開局する人が多く、いきなり 7 MHz から、というのは比較的珍しかったようです。

翌日も積極的にCQを出し、毎日が無線三昧、夢中になって一日に150QSOもした日もありました。今思えば当時はがむしゃらにやっていた感じがします。

そして開局から2～3年は毎日のように交信をして特にSWL時代にカードを頂いた局にはようやく開局した旨を伝え、連日楽しんでおりましたが、そのうち卒業、就職とアクティビティーは急激に低下し、JARLからのQSLカードが全く届かない月もありました。それでも無線の興味だけはあったのでしょう。JARLの会費だけは切らずに幽霊会員？状態でした。また職場が日曜や祝祭日は休めなかったのでコンテストやJCC/Gサービスにも対応できませんでした。

次回号につづく

記事の都合上、次回号との連載になります。申し訳ありませんがご了承下さい。

同封しております葉書（総会案内状）に近況等をご記入の上
ご返送くださいますよう、くれぐれもお願いいたします。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

*** 連絡先 JH5WMN 山口博司 方

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：JH5WMN

JH5LYW

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成12年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

*** 会費納入口座

JARL 香川クラブ ***

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天野 英 弘
編 集 者	JH5LYW	三 好 伸 幸
	JH5WMN	山 口 博 司
	JE5PBO	岡 田 光

事 務 所

天野 英 弘 方

郵便振替口座

JARL香川クラブ